



学校だより
ながや

令和3年度 第6号
令和3年 8月31日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

子どもたちのために、今できることをやっています。

校長 平野 好子

新型コロナウイルス感染症が収束する兆しも見えぬままに、今年は、コロナ禍での2度目の夏休みとなりました。毎日のニュースで報道される新規感染者の数はここ最近やや下降線をたどり始めたようにも見えますが、まだまだ感染拡大防止に予断を許さない日々が続いています。

8月末日までを期限として発出された緊急事態宣言もこの夏休み中の8月2日（月）には、9月12日（日）まで延長となりました。また、新型コロナウイルス変異株の感染力が猛威を振るい患者発生が急増していることから、市立学校は8月31日（火）までを臨時休業とし、その間の児童の健康状態をロイロノート・スクール等のオンラインツールや電話によって把握させていただきました。また、9月1日の教育活動再開に向けて、今後の教育活動の継続のためにも、オンライン授業実施に向けて、各家庭の常設Wi-Fi状況確認もさせていただきました。ご協力ありがとうございます。今後は、各学年に応じて、段階的にロイロノート・スクール等を活用した学習活動を積極的に進めてまいります。

9月1日（水）から、13日（月）までは、市内の現在の感染状況をふまえ、短縮授業の実施とオンライン学習の準備をしていきます。本日、1日（水）には、子どもたちが、1人一台端末を持ち帰ります。以後、登校日に学校で端末を使った学習指導を行い、家庭等で各担任から出される端末を使った課題に取り組んでいきます

これまで行ってきた、手洗い・換気・家庭と連携した健康観察、給食時の黙食、喫食時以外のマスク着用等、これまでの感染症拡大予防の取組を最徹底していきます。学校は、学校教育再開に向けて、感染症対策である教職員の接種を進め、感染拡大防止策の再確認と徹底に努めながら、教育活動を通して子どもたち一人ひとりに、自分の健康を守る力を育てていきたいと考えます。

学校教育再開に向けて、休業中、職員も密を防ぐために校内で換気のよい教室に分散し、端末を使ったオンライン会議を行うなど、感染対策を徹底しながら、学びを止めずに、継続できる活動について模索し、準備してまいりました。教職員も自ら端末を使った学習づくりに取り組み、前向きに取り組んでいます。学校教育目標『自ら考え、人とつながり 未来をつくる永谷の子』の育成のために、この状況下であってもできる、安心・安全な学びの在り方、実施可能な学びを行っていきます。

休みの間、不安な気持ちになっている子どもたちもいることと思います。心のケアも行いながら日々の学びを大切にしていきます。分散登校で学校が再開します。登校日に子どもたちに会えることを楽しみにしています。

これまでも、保護者の皆様・地域の皆様に多くの面でご理解いただき、ご協力をいただき、大変感謝しております。今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。